

【1年生】 分野を決定し、自分の探究していく方向性を見つける

【9月 SDGsを切り口に探究サイクルを体験する】

プラスチックを題材に、8つの分野からアプローチ
問いについて調べながらまとめていく活動を通して探究のサ
イクルを体験しました。

例) <社会学分野>

プラスチックは観光業や経済にどのような影響を与えるか？

<国際分野>

レジ袋の有料化は本当に正しいのか？

～世界を例に日本の行く末を考える～

～振り返り～

問いについてたくさん調べて知識を増やすまでなかなかうまくい
かないことを学んだので、少しでも疑問に思ったことは調べ
てみることにしようと思いました。

1つの問いだけで考えるのではなく、新しい問いも見つけて更に
深くその問いについて考えることが大切だと思ったから、今後
に活かしていきたい。

【10月 8分野講演会で、自分の興味のある分野を聴く】

昨年に引き続き、各分野専門の外部講師を招いて、分野の魅
力を講演していただきました。

今年度は分野決定前に実施したため2種類の講義を聞きました。

～振り返り～

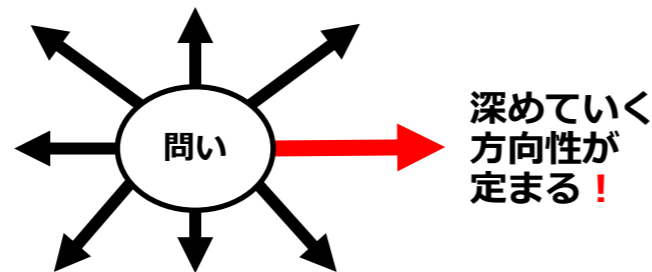
探究は大変なものだけど、問いをどんどん見つけられたりしたら
楽しいものになるのではないかなと思いました。
視野を広げるだけで変わるから自分も頑張りたいなと思い
ました。

【11,12月 テーマを考える+テーマ報告会】

自分の所属する分野を今までの興味関心から決定
し、自分自身の探究テーマを発表しました。

その後、全体ガイダンスで「大きな問い」を「小さな
問い」に分解することの重要性を学びました。

【12月～3月 基礎研究を行い、周辺知識を得る】



探究ジャーナル (2学期総括号)

～「自分」と対話し続ける～

発行日
令和2年12月24日

発行者
進路・探究部
探究担当 直井

●● 自分がどのように学んでいるかを意識してみる (直井)

今回のタイトルは、「自分と対話し続ける」と付けました。皆さんに限らず人間ならだれでも、頭の中で少し前の自分を「ああでもないこうでもない…」と考えてしまうことはよくあると思います。

この探究の時間に限ったことではありませんが、僕は「**自分のことを少し離れて見る**」ということは**自分を知る上でとても大切**だと考えています。

探究の時間では、**自分で問いを立てて、調べてまとめて、相手に発表して振り返る** このプロセスを繰り返しているのですが、これは全て自分自身と向き合わなければ進まないことです。

この自分自身と向き合うことを、「自分」と対話すると名付けました。**皆さんはしっかりと自分と対話できていますか?**どんな場面で自分と対話するチャンスがあるのか、今回はそれを下の図で紹介したいと思います。

■ 自分と対話する4つの段階

準備する

自分のやっていくことを考える・リストアップする
心の声「**こういう風にしてみようかな…**」

まとめる

自分の現在持っている材料を把握する
心の声「**まとめてみると、ここが足りてないな…どう組立てよう…**」

相手に伝える

自分の考えを、自分の中でわかりやすく組み立てる
心の声「**こうすると、自分のしてきたことが伝わりやすいかな…**
「**そういう見方もあるなあ…**」

振り返る

これまでの自分をもう一度スキャンしてみる
心の声「**ここでこうすると、次に繋がるかなあ…**」

【ラーニング・パターンカードを使って、自分の学び方を意識する授業をしました】



ラーニング・パターンカードとは? → 学びのヒントが書かれた40枚のカード

このカードを使って、どんな学びが大切かを考える授業をしました。

<授業後の振り返り>

グループで考えた理想の学び「**過去を見つめ、未来をつくること**」が大切!

過去を振り返ることでどのくらい自分が変わったか、足りないものは何か分かる。
そうしたらこれからの自分に何が必要かわかってくる。

自分にとって良い学びとは何か。今日はカードの力を借りて自分の考えを深められた。

【11/11 実施】1.2 年生合同中間報告会の様子

目的

【1 年生】

2 年生の探究の進捗報告を聞くことを通して、探究のプロセスを改めて自分事として捉える機会にする。

【2 年生】

自分の現時点での成果を他者に伝えることを通して、現時点での整理や、今後の論文作成に必要な事項を自覚する機会にする。



報告会の様子

各分野に所属する 1.2 年生が集まって、2 年生の現時点での探究の成果を報告しました。

報告会では 2 年生の分野リーダーが司会を務め、リーダーの運営で会がスムーズに進行しました。2 年生にとっては自分の今までを振り返る良い機会となり、1 年生にとっても目指す道が見えてきたように思います。



【1 年生の振り返り】

項目1 2 年生の発表を聞いて自分の探究に活かしたいと思ったところは？

- その問いにだけに対して調べていくのではなくて、関係することたくさん調べたいと思いました。
- 私が今思う問いは 2 年生の皆さんからのアドバイスをいただいて、大きすぎると気付いたので、さらにポイントを決めて、問いを調べていこうと思った。

項目2 自分の興味のあるテーマや方向性は見つかったか？

- 何回も問いを変えてもいいことを知った。今までには一つに絞ってそれをずっと調べなきゃいけないと気が少し重かったけど、問いから問いを生んだり、新たなテーマなどを自分で見つけてもいいことがわかり、少し探究について前向きな気持ちになった。

【2 年生の振り返り】

項目1 今回の中間報告会までの自分の探究については、10 点満点中何点？

7.5 点 最初は政治について本当に興味がなくて、ただ韓国のアイドルが好きだからという理由で調べてたけど、実際調べてみると、自分が知らなかったことばかりでだんだんと政治について分かってきて面白くなり、最終的にはしっかりと要点をまとめられたから。

項目2 みんなの発表を聞いてこれから自分はどのような探究活動をしていきたいか？

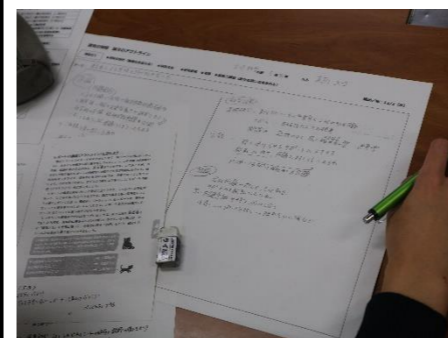
- 比較対象がない差別は色々な視点から見ないとうまくまとめられないと思った。今だと肌の色が変化する原因と過去の歴史とどうつながっているか。ほかの視点についても深堀したい。
- 本をたくさん読んでいる人もいたから、何冊も読んで問いを深めたいと思った。

【2 年生】自分を客観的に見ながら、探究成果を論文にまとめ上げる

【いよいよ、自分の探究をまとめる段階に！】

2 年生は、中間報告会も終わって、いよいよ論文作成に入っているところです。特に、期末考査後の皆さんの様子は、「今後ずっと役に立つ、学びのヒントをつかんでいる！」と感心しました。

アウトラインから書き始めています



なぜ論文を書くのか？

なぜ論文なんて書かなくてはいけないのかと思っている人は少ないと思います。自分自身を振り返ってもそんな疑問を持っていたのをよく覚えています。

しかし、今は「論文を書くこと」は自分の学びを整理して表すには最適な方法だと思っています。とても苦しい作業ではありますが、沢山頭の中で考えるので、確実に皆さんの成長につながると確信しています。



【分野リーダー体制の始動】



分野リーダー

<これまで>

- 中間報告会のプログラムを作成しました
- 中間報告会の振り返り項目を考え、実施しました

<これから>

分野リーダーの力を借りながら、具体的にどうすれば本所の探究をより良くしていけるかを考えていきます。

さらに有志で手伝ってくれた生徒も！

何人かの生徒が、夜までプログラム印刷や会場設営を手伝ってくれました！本当にありがとう！

【中間報告会をご覧いただいた先生から】

話をしていた 2 年生が「このテーマに対する答えって、ちゃんとした答えがないのでそれだけ考えるのがすごい難しいんですけど、でも資料とかたくさん読み比べて自分が一番納得できる答えが出せればいいなって思います」と 1 年生に向かって言っていて、探究の真理をズバリついている！と驚きました。